平成30年8月議会臨時会

東総地区広域市町村圏事務組合議会会議録

平成30年8月27日 開会

平成30年8月27日 閉会

東総地区広域市町村圏事務組合議会

平成30年8月東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会議事日程

平成30年8月27日（月）午後2時開会

日程第 1 開 会

日程第 2 仮議席の指定

追加日程 発議第1号 東総地区広域市町村圏事務組合負担金条例の一部を改正する
条例の制定について

質疑、討論、採決

日程第 3 議長の選挙

日程第 4 議席の指定

日程第 5 会期の決定

日程第 6 会議録署名議員の指名

日程第 7 管理者挨拶

日程第 8 報告第1号 平成29年度東総地区広域市町村圏事務組合一般廃棄物
処理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

日程第 9 質 疑

日程第 10 閉 会

出席議員（9名）

1番	地 下 誠 幸 君	2番	鎌 倉 金 君
3番	石 上 允 康 君	4番	島 田 和 雄 君
5番	佐 久 間 茂 樹 君	6番	向 後 悦 世 君
7番	小 川 博 之 君	8番	苅 谷 進 一 君
9番	浅 野 勝 義 君		

欠席議員

な し

説明のため出席した者

管 理 者	明 智 忠 直 君
副 管 理 者	太 田 安 規 君
副 管 理 者	越 川 信 一 君
事 務 局 長	増 田 吉 克 君
施設整備課長	鴨 作 勝 也 君
施設整備課主査	宮 内 雄 治 君

事務局出席者

書 記	齊 藤 孝 一
書 記	菅 谷 武

○事務局長（増田吉克君） 皆様、ご苦勞様でございます。会議に入る前に、配付資料の確認等をさせていただきます。本日の議事日程及び報告第1号につきましては、事前に配付させていただきました。

また、本日、席次表、正副管理者及び説明補助者一覧表を各議席に配付させていただきました。皆様、お手元におそろいでございますでしょうか。

次に、今年度、最初の議会ということで、組合の職員の方も異動もございましたので、改めて今日、出席の事務局職員を紹介させていただきます。はじめに、齊藤総務課長でございます。鴨作施設整備課長でございます。総務課の菅谷副主幹でございます。宮内施設整備課主査でございます。私は、事務局長の増田です。よろしくお願ひします。

現在、当組合議会におきましては、議長が不在となっておりますので、新たな議長が選出されるまでの間、地方自治法第106条の規定によりまして、副議長が議長の職務を行うこととなっております。それでは、小川副議長お願ひいたします。

日程第1 開 会 （午後2時06分）

○副議長（小川博之君） ただいま、ご紹介をいただきました、副議長の小川でございます。

議長が選出されるまでの間、議長職を務めさせていただきます。ご協力の程、よろしくお願ひいたします。会議に先立ちまして、ここで新たに組合議員となられた方をご紹介いたします。

銚子市選出で銚子市議会議長の地下誠幸議員です。

○議員（地下誠幸君） 銚子市の地下誠幸でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○副議長（小川博之君） それでは、ただいまから、平成30年8月東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会を開会いたします。ただいまの出席議員は、9名でござい

ます。よって、定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

なお、説明のため、管理者、副管理者、事務局長ほか説明員の出席を求めました。

日程第2 仮議席の指定

○副議長（小川博之君） 日程第2、仮議席の指定を行います。匝瑳市議会会議規則第4条第2項の規定を準用し、仮議席は、ただいまご着席のとおり指定いたします。

（「動議」と呼ぶ者あり）

追加日程 発議第1号 東総地区広域市町村圏事務組合負担金条例の一部を改正する条例の制定について

○副議長（小川博之君） 苅谷議員。

○8番（苅谷進一君） 先程、開会前に事務局のほうに発議案の提出をさせていただきましたので、取り扱いのほうをよろしく申し上げます。

○副議長（小川博之君） 暫時休憩いたします。

午後2時07分 休 憩

午後2時56分 再 開

○副議長（小川博之君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。只今、苅谷議員他2名から東総地区広域市町村圏事務組合負担金条例の一部を改正する条例の制定について、が提出されました。日程の順序を変更し、直ちに審議することにしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（小川博之君） 日程順序を変更し、直ちに審議することに決定いたしました。

東総地区広域市町村圏事務組合負担金条例の一部を改正する条例の制定について、を議題とします。提出者の説明を求めます。

苅谷議員。

○8番（苅谷進一君） それでは、お取り計らいありがとうございます。ただいまから発議案についての説明をいたします。

時間を要して皆様には、ご迷惑をおかけしましたが、非常に緊急性を要する事案であると思いましたので、私は発議案を提出させていただきました。

まず初めに議題といたしましては、東総地区広域市町村圏事務組合負担金条例の一部を改正する条例の制定であります。本市の議会、並びに本市の市長もですね、別紙資料のとおり人口割10%、処理量割90%という主張を今まで私共は、しております。その事案につきまして、今まで、いろいろ議論されている訳でございますが、中でも明智管理者は、だいぶご苦労されているのは、敬意を表するところであります。しかしながら、前回の議題であって全協でいろいろ話した後に、未だ、まだ話が進まず、それから担当者会議におきまして5月22日に行われた後、担当者会議もされず、いきなり今日のこの後、全員協議会で出て来るような、まったく持って不公平な負担割合案が出ているんです。この負担割合案をもって、このまま進めるようであれば、今まで議論を重ねてきたことが台無しであります。ましてや、私共が言ってますようにまだ掛かる見えない費用がかなり増大する部分があります。そういった面を含めてですね、私は、この時にですね、一度先議を諮っていただき、その上で、まあ、仮に反対があろうが、何しようが、議論をきちっと尽くさなければ、この三市の共同事業は、成り立たないものであると、私は思う次第であります。その上で私共、市長を始め、議会一体になり、ひいては職員も一体となって主張しています、1対9、先程、申し上げた内容をですね、理由をですね、細かく命ずるまでもなく、フェアな形で、負担割合ができることを望む次第であるから私は、この案を提出したものであります。

また、これまでの議論の中で本市の担当者にもいろいろ聞きますと、なかなか議論

が進まず、担当者会議では一度、旭市さんのほうの流れもあって、85対15というような割合の案も出たにも関わらず、いきなり今日の全協では、訳の分からない総務費、それからごみ処理管理費、中継処理施管理費実質負担金割合、現行条例のいうような改正の数値の、ただ数値を付け替えしたような案を出してきた。これで納得するなんていうのは到底理解できるものではありません。担当者会議では、いろいろ議論が出ているものにしても、実際管理者がどこからどこまで数字を分析しているかは、まず無理でしょう。確かにそれを管理者が全部把握するのは無理かも、分ります。しかしながら余りにもこの数字の隔たりが大きすぎると言う事であります。それからなぜ、この間、8月14日に行われた会議は、施設整備課と担当者会議だけで行われている。財政とか他の課が出ないで、何でこういう話がいきなり案として出て来るのですか。本来であれば、この負担割合については、総務が担当すべきことでは。何で施設整備課がこんな負担割合のことをやるんですか。局長、総務課長、これは違いますよ、筋として。どこの市を探したって、どこのところを見てもですね、こういう事を施設整備課がやるなんて言語道断、ですからこういう事がどんどん施設整備課主導、で行われる訳です。こんなことがあっては、いけません。ですからあえて、苦渋の選択をさせていただきました。こういう流れで一度先議をしていただかないと。先程、休憩中ある方からもありました。やっぱり一回議論はすべきだ。その通りです。ですから、だめは元々でもありますが当市として一丸になっている数値を提出させていただきましたので先議のほどよろしくお願い申し上げます。以上で提案理由の説明を終わります。取り計らいよろしくお願いたします。

○副議長（小川博之君） それでは、質疑に入ります。あらかじめ申し上げます。質問回数は、再々質問までとなっております。

佐久間議員。

○5番（佐久間茂樹君） 荻谷議員の発議という事で質疑させていただきます。私、あまり議事運営に詳しくはないんですけど、とりあえず今まだ、仮議席ですよ、議長の選挙、議席の指定も終わっていない。会期の決定も終わっていない。会議録署名議

員の指名も決まってない訳ですよ。先議するのは、構わないんですけど、この後に会議録署名議員を指名するのですか。日程第6まで終わって、管理者の挨拶まで終わってからの発議でいいんじゃないですか。この発議を先議しない、それともしないとかじゃなくて、ゆっくり時間をもって管理者の挨拶が終わって日程第8の前あたりで発議されてもいいんじゃないですか。

○副議長（小川博之君） 苅谷議員。

○8番（苅谷進一君） 佐久間議員の質問にお答えします。

（「議長に聞いている」との声あり）

○副議長（小川博之君） 緊急性がある問題という事で取り上げましたのでこのまま継続させていただきます。

ほかに質疑ございませんか。

鎌倉議員。

○2番（鎌倉金君） 議長、緊急性という意味があるというから、いけないんですよ。

緊急というのは、例えば、不測の災害が起きた時とか台風があったとか、そういった時が緊急なんであって、負担割合の見直しという問題については、我々ずっと議論していて、まず緊急という問題ではないと思うんですね。それを今までの事をですね、また新たな提案したいのであれば、それなりに緊急というよりは、あらかじめ提案していただいて、我々、事前準備して慎重に討議が出来るような状態で議論できるのが望ましいと思います。緊急という意味が理解できません。

○副議長（小川博之君） 苅谷議員。

○8番（苅谷進一君） 今ですね、もう議題が取り上げられちゃって、それでその議題に対して質疑をしている時間であって、それは、取り上げますか、取り上げませんか、という時点でおっしゃる発言であって、あそこで取り上げたという事をしているのに対して意味不明なことをおっしゃっていますけど、その点どうなんですかね。全然言っていることが鎌倉さん違いますよ。先程、取り上げることに異議ございませんか、て異議なしとは、言っていないんですけど、それで取り上げられちゃっていること、何を

今さら言っているんですか。議会人としてその辺、考えて下さい。だったら最初に言えばいいじゃないですか。取り上げちゃっているじゃないですか。

議長、緊急性の件で一応説明しましょうか。どうします。しましょうか。

(「議長が取り上げたということ」という発言あり)

○副議長(小川博之君) 石上議員。

○3番(石上允康君) 動議としての要件は、匝瑳市の議会規則に則っての提案と思うんですけど。それはそれで、解釈したいと思いますが、我々、今日集まって来た時にはですね、全協の資料の中ですね、負担金の見直しに係る資料については、当日配付される。今日配付されるという様なことで、そこの中で逐一説明があるのかなという様な気がしております。そういった事を考えると今回の条例は、唐突な感じがする訳です。そして、荻谷議員がおっしゃっているように不公平の形がどんなのか、あるいは、議論を尽くす、という様な部分からですね、私としては、ちょっとはずれているのかな、というような気がします。今日の資料との関係についてはどのように考えているのでしょうか。

○副議長(小川博之君) 荻谷議員。

○8番(荻谷進一君) 今、石上議員からご意見いただきましたけど、先程、石上議員がおっしゃったように、この後全協で出て来る資料なんですよ。私、前々から実は全協にでる資料を早めにくれと、皆さん検討できるようにというのは、いらっしゃるときに再三言っているはずなんです。ところが、その資料というのは、先週出来ていて、市長とか皆、理解していて、うちの市長は、私らに説明をしてくれた訳です。先週出来ているにも関わらず、局長がうちの事務員に当日渡す資料がありますから、じゃあなんで渡さないんですかという話ですよ。それだけ、なんでこう直前にだして論議できないようにしちゃう。確かにおっしゃるとおり石上議員が言うように我々も資料を事前にいただいて、そういう資料を検討してから論議したいんですよ。ところがそれですら、本来なら負担割合は、総務課がやるにも関わらず、今回施設整備課がやっている、それを今日の議会、まだ今、皆さん持っていませんよ。私は、市長がうち

の議員に見せるよって東広に言っているはずですよ。だから私は、あらためてこうやって、このこともあって、じゃあこれじゃもう、なんでこうやって一方的になるんだ、ということを見ていないから何とも言えないと思うんですけど、それでなったという意味合いですので石上議員ご理解いただきたいと思います。

○副議長（小川博之君） 島田議員。

○4番（島田和雄君） 今回この発議案が出されたということで、そうしますと、これが賛成多数になりますとこれで行くと、いうことになるということだろうと思います。負担割合は、この議会としてこれで決まったとそういうことになる訳でしょうか。

○副議長（小川博之君） 荻谷議員。

○8番（荻谷進一君） 私共の今までの議会の認識ですと、発議案が出てそれが仮に可決されればそれ、否決されればそれはない。発議案については、ご存知のように同じ内容では出せないんですよ。例えば、言い方が悪いですけど、今、10対90で出しましたけど、それが今度、例えば、9対91になることはあっても、同じ発議案は出せないの、仮に今、島田議長がおっしゃるように採決された場合は、その案は、もう絶対使えないということです。よろしくお願いします。

○副議長（小川博之君） 島田議員。

○4番（島田和雄君） 今、説明がありましたけど、これが可決されますと、人口割10、処理量割90ということで決まると、いうことになる訳であります。今日の東広の集まりにつきましては、新たな負担割合について事務局案が示されるというようなことは、お伺いしておりました。それをですね、聞かぬうちにこの議決をしていいものかどうか、私は、ちょっと疑問に思いますので、匝瑳市の皆さんに出していただいた案ということでもありますけども、これで決めちゃいますと、これまで事務局の皆さんがですね、いろいろこれまで議論されてきました各市のですね、課長さん含めて議論されてきました案が、まったく日の目を見ないということになってしまうと思いますので、一旦はですね、案をまずお伺いして、私共がお伺いして議会に示していただいて、その後にですね、もう一回、考え直した方がよろしいかと、私は思い

ます。

○副議長（小川博之君） 荻谷議員。

○8番（荻谷進一君） 確かに島田議長のおっしゃるとおりの部分もありまして、今まで議論を各市の担当会議に担当者が行っていたんですよ。それが5月22日、先程も言いましたけど、まではやっていたんですけど、うちの職員も全部聴取してあります。それでいきなりその時点で今まで聴取した、私が例えば皆さんご存知のようにいくらいったい掛かるんだと話をしていたんじゃないですか。今までの会議の中で。それすら出さないのが施設整備課の方でいきなり、この新しい見ていない、確かにおっしゃるとおり、案が出てきた。本来であれば、全員協議会でも先にやってもいいわけですよ。だからもう、言い方を悪くいいますと、悪い者は後、先に取られたらまずいものは・・と順序をね、逆に私に言わせれば全員協議会を先にやってもらった上で本来会議をやればその上で意見を尽くして、いうことであれば、私共としても理解できることであります。この強引さ、隠ぺい体質、これがあったんで、大変申し訳ない。例えば、島田議長がおっしゃるように、じゃあどうしてもそういう話をしようということであれば、私だって取り下げる気持ちもあります。正直、だけど今のままでは、申し訳ないんですけど、我々だけが何か取り残されちゃっている部分がありまして、担当者会議のですね、担当課の方も、もう今まで尽くした議論は、なんだろうというふうに、我々の担当、財政、それから環境衛生まで、課長までそういつている状態なんです。これはね、私らも職員もがんばってもらわないとしょうがないし、だから本当にここで、例えばですよ、暫時休憩してもうちちょっと話をしようじゃないか、と言っただけであれば、私だって考えようによっては、いろいろ考えたい部分もあるんですけど、あまりにもちょっと強引な部分があつてですね、島田議長、そういうことになった部分は、お許しいただきたいと思うんですが、その経緯であります。ご理解のほどよろしくお願いします。

○副議長（小川博之君） 佐久間議員。

○5番（佐久間茂樹君） 今、島田議員がおっしゃったとおり私も同感だと思います。

本日の臨時会も主な目的は、新しい議長の選挙、日付の確定、会期の決定、会議録署名議員の指名、で報告第1号があるんですよね。それでこの後に全協があって、そしてごみ処理広域化推進事業の進捗状況についてと、負担金見直しについてと、新しい議長が決まった上で全協が開かれると、そういうことでその説明を今日、私は受けにきたつもりで、資料も今、いただいたところです。そういった意味で十分把握していないと思うんですよ。確かに、全協は、もう一回その前に全協があって、いろいろ討論、検討できれば、それは大事なことだと思っております。そういう意味で島田和雄議員とほぼ同意見で、まずこの臨時会を、新しい議長選等を決めてもらって席もきっちり決めてもらって、それから全協で、私はその管理者、副管理者の考えも全然聞いていないわけで今、でしょう。どういう考えでいるのか、議会で発議して決めても三人の管理者がノーといえれば崩れる訳でしょ。できれば管理者の意向をお伺いして、よく議論した上で検討した上で決めたいと思いますので、この前の発議をできれば取り下げていただいてと思います。自分もね、検討しないという訳じゃない、今の状態で検討するという話になれば、イエスかノーか、で私は大変申し訳ないけど、今の段階だったらノーにするしかないですよ。そういった意味でまず臨時会の日程のね、7くらいまではやった上で、それから全協を諮って、全協で説明していただいて管理者、副管理者のお考えを聞かさせていただいて、その上でないと判断できないですよ。是非そういった形でお願いしたいと思います。

○副議長（小川博之君） 浅野議員。

○9番（浅野勝義君） 佐久間（前）議長のおっしゃる意味はよく判ります。それで実際問題ですね、発議、これは我々、緊急性があるものという判断で出させていただきました。しかしながら、時間をずらせという意味であれば、これは、やぶさかではないという思いはあります。実際問題この議会の中の会則でですね、今の発議を引っ込めるのではなくてこのまま継続させてもらうんですけど、その前に今、島田議長から佐久間（前）議長のおっしゃっている形に持っていけるかどうか。どうなんでしょう。議会として。

○副議長（小川博之君） 暫時休憩いたします。

午後3時15分 休憩

午後3時22分 再開

○副議長（小川博之君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。採決まで進めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

他に質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○副議長（小川博之君） 質疑なしと認めます。続いて討論に入ります。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○副議長（小川博之君） 討論なしと認めます。それでは、採決いたします。

発議第1号、東総地区広域市町村圏事務組合負担金条例の一部を改正する条例の制定について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手する者が2名、挙手しない者が6名）

挙手、少数であります。

よって、発議第1号は、否決されました。

日程第3 議長の選挙

○副議長（小川博之君） 日程第3、議長の選挙を行います。お諮りいたします。

議長の選挙の方法について、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

島田議員。

○4番（島田和雄君） 議長の選挙につきましては、これまでの慣例によりまして、指名推選がよいと思います。

○副議長（小川博之君） ただいま指名推選のご意見がありました。これに、ご異議ありませんか。

荻谷議員。

○8番（荻谷進一君） 島田議員がおっしゃったように指名推選でかまわないと思いますが、指名推選される前に一点確認したいことがあります。

銚子の議長であります地下議長にですね、ちょっと確認したいことがあります。今回、東広の議会で新日鉄グループがあって、いろいろな関連企業が名をつらねております。その関連企業の中に地下さん御存知のように上杉物産さんという関係がございます。そこにつきまして、いろんな、まあ失礼ですけど噂や、いろんな話を聞いております。やっぱり東広の議長になる以上、その上杉物産さんとの関係を明確に、この場でしていただかないと、いろんな問題が出ると思います。ですから私としましては、議長本人のご自身の意見が取ればですね、まず上杉物産さんの看板を関係敷地に建てたこと、それから以前か現在かわかりませんが上杉物産さんの名刺を、内容は、わかりませんが、まちがっていたらごめんなさいね、顧問とかそういう名刺を持っていた時代が議員時代にあったと聞いております。そのへん明確にお答えいただかないと、この指名という信任を得た中で物事を進める訳ですから、やっぱり身の安全を図って東広の今後の益々の運営が出来るようにしていただきたいと思いますので、ご意見をいただければと思いますので、議長お取り計らいをお願いします。

○副議長（小川博之君） 地下議員。

○1番（地下誠幸君） それでは、荻谷議員のご質問にお答えしたいと思います。まず今回の協力企業に入っています上杉物産との関係でございます。私、市議会議員に立候補する以前、13年間、銚子信用金庫に勤務しておりました。そのような中で、上杉物産さんと関係がございますけれども、現在は、降りられたかと思いますが、上杉物産自体は、銚子信用金庫の総代のお客でございます。大口のお客で、そのような中で上杉物産との関係というのは、私が23年の4月に選挙に出るにあたりまして支持者の中で上杉物産と付き合いがある方がいらっやいまして、一度挨拶にいった

方が良いよ、また信用金庫のOBの方々も、応援してくれるOBの方々ですね、挨拶行けよと、そういった中でお付き合いが始まった訳であります。2点目、家の確かに自宅、上野町（204の3）の自宅に上杉物産銚子営業所ということで看板、掲げてございます。しかしながら、家は、賃貸業をやっておりまして、オーナーは、母親でございます。母親の方の口座には、家賃が毎月5万円ずつ入っているのは、間違いございません。また、いろいろな名刺の話になりますけど、名刺は確かに23年に当選してきて、一期目、私が副議長になる以前は、持っていました。名刺を確かに持っていた時期がでございます。顧問といった名刺をもったことがあります。一部ですね、噂で地下誠幸は、上杉物産から顧問料100万円もらっているとか取締役になって・・・

（「関係ないことは聞いていない」の声あり）

顧問は、やっておりません。

（「事実関係だけ」の声あり）

取締役というのを受けておりません。もし、そういった所は、確認するようでしたら、匝瑳の法務局に行きまして登記簿謄本を取って確認していただきたい、事務局の方にそれを申し上げたいと思います。

○副議長（小川博之君） 荻谷議員。

○8番（荻谷進一君） 今、説明を受けまして納得はさせていただく部分はあります。

ただ、今、こういう時代で、賃貸ということでお母さんが何を貰っているのかわかりませんが、敷地の中を借りているんですかね。

（「家の1階を借りている」の声あり）

借りているわけですよ。こういう時代いろんな噂があったということでございますけど、やはりそういう事を議員である以上、ましては銚子の議長さんである以上、それからこの東広の議長になられるお方ですから、やっぱりそういう所は、上手に配慮すべきであるし、また、賃貸もらって事務所の実態があるかどうかわかりませんが、そういう事は、やっぱりクリアすべきじゃないのでしょうか。これは、私、個人の意見です。やっぱり我々も若手議員市議の会でお付き合いして、当初からお互

いに意見を分かち合いながらやっている議員であります。だからあえてこういう場所で言わせていただきます。これを言わないで後ろでくすくす言っても、あなたの為にもならないし、あなたの噂がある以上は、やっぱりそういう風に思えちゃうんです。そういうことがない事を明確にした上で議長に就任される事を私としては懇願した訳でありますからご理解賜りたいと思います。以上です。

○副議長（小川博之君） 選挙の方法は、指名推選で行うことに決しました。お諮りいたします。指名の方法については、本職が指名することにしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（小川博之君） ご異議なしと認めます。よって、本職が指名することに決定しました。東総地区広域市町村圏事務組合議会議長に、銚子市選出の地下誠幸 議員を指名します。お諮りいたします。ただいま本職が指名しました地下誠幸 議員を東総地区広域市町村圏事務組合議会議長の当選人と定めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（小川博之君） ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名しました、地下誠幸 議員が東総地区広域市町村圏事務組合議会議長に当選されました。

ただいま、議長に当選されました地下誠幸 議員が議場におられますので、匝瑳市議会会議規則第32条第2項の規定を準用し、本職から当選の告知をいたします。

地下誠幸 議員が、東総地区広域市町村圏事務組合議会議長に当選されました。告知を終わります。ここで、東総地区広域市町村圏事務組合議会議長に当選されました、地下誠幸 議員から当選受諾のご挨拶をお願いいたします。

地下議員。

○1番（地下誠幸君） この度は、議長職の大役を仰せつかりまして、誠にありがとうございます。謹んでお受けいたします。なにぶん不慣れではございますが、組合議会発展のため、努力して参る所存でございますので、皆様方におかれましては、ご協力のほど、よろしく願い申し上げまして、私の当選のあいさつとさせていただきます。

す。よろしくお願い申し上げます。

○副議長（小川博之君） 議長当選受諾のご挨拶が終わりました。これをもって、私の職務は終了いたしました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

ここで、議長職を交代いたします。地下議長、議長席にお着き願います。

暫時休憩いたします。

午後3時42分 休 憩

午後3時43分 再 開

○議長（地下誠幸君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。議長職を務めさせていただきます。円滑な議事運営ができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

それでは、会議を再開いたします。

日程第4 議席の指定

○議長（地下誠幸君） 日程第4、議席の指定を行います。匝瑳市議会会議規則第4条第1項の規定により、議長において指定いたします。ただいま、ご着席の仮議席を、本議席と指定いたします。

日程第5 会期の決定

○議長（地下誠幸君） 日程第5、会期の決定であります。本日限りといたしたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（地下誠幸君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日限りと決しました。

日程第6 会議録署名議員の指名

○議長（地下誠幸君） 日程第6、「会議録署名議員の指名」を行います。

9番浅野勝義議員、2番鎌倉 金議員の両名を指名いたします。よろしくお願いいたします。

日程第7 管理者挨拶

日程第8 報告第1号の説明

○議長（地下誠幸君） 日程第7及び日程第8、管理者より挨拶並びに報告第1号の説明をお願いいたします。

明智管理者。

○管理者（明智忠直君） どうも皆さん、ご苦勞様でございます。本日ここに、平成30年8月東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変お暑い中、大変お忙しい中ご参集を賜りましたこと、心から厚くお礼申し上げたいと思います。

冒頭に苅谷議員のほうから発議案が提出をされまして、いろいろと議員の皆様方には、ほんとうに迷惑を掛けておりまして、私の調整力不足、リーダー力不足ということであると思います。心から皆さん方に改めましてお詫び申し上げたいと思います。

このことにつきましては、今日の発議を参考にしながら、あとは、もう少し調整をすれば良い段階まできているわけでありますので皆様方の意見を一日掛けて朝から晩までその議論を尽くして、皆様方の意見を聞きながら良い方向で良い案で進めて行きたいと、そのように今考えておりますのでどうぞよろしくお願いをしたいと思います。

また、ただいま議長に就任されました、地下議長には、心からご祝意を表したいと思っておるところでございます。おめでとうございます。新しい議長さんのもとに、組合議会の益々のご発展を祈念申し上げる次第であります。

さて、本日の報告案件について、ご説明を申し上げます。

報告第1号であります。平成30年2月22日の組合議会定例会でご承認いただきました。平成29年度東総地区広域市町村圏事務組合一般廃棄物処理事業特別会計の繰越明許費について、繰り越しを行いましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、議会へ報告するものであります。

詳細につきましては、事務局から内容説明をいたしますので、よろしくお願いたします。以上です。

○議長（地下誠幸君） 続いて、事務局から報告第1号の補足説明をさせます。

事務局長。

○事務局長（増田吉克君） それでは、報告第1号、「平成29年度東総地区広域市町村圏事務組合一般廃棄物処理事業特別会計繰越明許費繰越計算書」について、ご説明いたします。

繰越明許計算書、表になっているものをご覧ください。1款衛生費1項清掃費でございますが、広域最終処分場の建設用地取得に係ります、登記事務手数料、用地購入費、物件補償費について3月の議会で繰越について、ご承認をいただいたものでございます。こちらは、平成29年度に予定しておりました最終処分場建設用地の取得、20筆およそ21,000㎡及び神社敷地の代替地およそ5,500㎡の取得やセンリョウ畑等に係ります物件補償、並びに購入した用地の登記事務を行います関係の事業につきまして、29年度当初予算で設定したのですが、年度後半に用地取得の事務に取りかかる関係から、29年度中に事業が終わらない見込みがあるということで3月議会において、議決をいただいたものでございます。まず、表のいちばん上ですが、広域最終処分場建設用地取得に係る登記事務手数料、こちらは、2月の議会における繰越明許額、2,003,000円を繰越しております。この事業につきましては、現在実施しております、11月頃、完了する予定であります。

つぎに、広域最終処分場建設用地購入費でございますが、平成29年度中に4筆、4,637㎡、18,249,000円分の執行ができたところでございます。よりまして、30年度に繰越した額は79,321,000円でございます。

建設計画地内の私有地につきましては、7月で取得を完了しております。今後は建設計画地内の法定外公共物、道路・水路、いわゆる赤道、青道の払い下げの手続きを実施し、事業の完了は12月ころを予定しております。

表のいちばん下ですが、広域最終処分場建設用地物件補償料につきましては、平成29年度中には、センリョウに係る育成ハウス、育成畑、並びに、立竹木の3件、5,926,020円を執行しております。よって繰越額は1,373,000円でございます。

なお、建設計画地内の用地交渉の際に、補償物件が発生する可能性もございましたため、繰越いたしました。が、私有地の用地取得が7月に完了し、地権者との交渉の際に補償物件が発生しなかったことから、この事業については完了しております。説明は、以上でございます。

日程第10 質疑

○議長（地下誠幸君） 説明がおわりました。日程第9、質疑に入ります。予め申し上げます。質問回数は、再々質問までとなっております。質疑については、報告第1号の内容の範囲内といたします。皆様のご協力をお願いいたします。

荻谷議員。

○8番（荻谷進一君） まず初めにですね、年度後半もう判っていたのになんで今まで引っ張って臨時議会やらない、私、さんざん増田局長に会いましたよね。何で早くやらないの、まだできませんまだできません。全協の内容なんか関係ないんですよ。はっきり言って議会で明許繰越も年度末に用地買収が全部できないのが判ったわけじゃないですか。なぜそれをやらないで今さらやっている。何カ月たっているんですか。これは、だれの責任ですか。明確にしてください。やっぱり明許繰越をやる以上は、年度後半にやるのも一つですし、そういうのは、もう判っていたわけじゃないですか。判ってなかったんですか。なんでそれをやらないで今頃になってやっているんですか。事務手続きの問題ですよ。当然明確にお答えください。

それから最終処分場用地に関しても、前から私は、何件でいくらでしょう、と質問しているが全然明確にならない。あやふやで、決まりました、決まりません、各議員に匝瑳市議会以外通知があったかどうかわかりませんが、どういう形でどう契約するか報告が何もないじゃないですか、議会に。こちらは地元の協議会と進めていますという以外、報告を細かく聞いたことないですよ。なんでそういう、何件、何平米、いくらで決まりました。私が前から言っている鉄塔の高さの問題とか、そういう問題をどうクリアしましたとか、投げかけたことが何も報告がなくどんどん進んでいるんですよね。それで、後になってこういう問題が出ました、こういう問題が出ました、こういう問題が出ましたとなりますけども、じゃ、何平米、何坪で平均単価いくらで、単価の事を聞けば、それは秘密裏にしなければしょうがない。何で秘密裏にする必要があるのですか。公共的なものやって処分するのだったら明確にですよ、そういうものをお示しすればいいんですよ。公平感が無いわけじゃないですか。じゃ誰かがあれですか、表沙汰にしないと、誰かがいいことになっているんですか。そういうふうに思われますよ。なんでそういう事をきちっと報告しないんですか。ともかく、東広で出た問題は、前にも何回も言っているように途中で書面でいいから議員各議に報告すればいいじゃないですか。決まったことがあれば、毎月一回でも、議長、報告してもいいんじゃないですかこれは、はっきり言って、議長、その辺を後々お取り計らいいただきたいと思うんですよ。やっぱりこれだけ真剣に皆さん議論して各市が心配している事ですから、やっぱりそういう報告を議長のほうに取り計らっていただいでですね、今、お答えいただかなくて結構です。後で終わった時点でお答えいただければと思います。ですから、再三申し上げているようにどういう状況になっているか明確にならない。ただお金だって、こないだの説明の時、何って言いました。内容に関しては言えません。だけど予算は、これで見てください。ということですよ。その報告をすればいいじゃないですか。何件、固有名詞、固有名詞なんて出さなくても、対象地、膳本を上げれば判ってしまうわけですよ。公になっているじゃないですか実際は、ひとつ土地の問題もあって現地の境界の問題もあるって前の議会でそう言ってましたよ

ね。そういう報告ありました。終わった後に、問題解決したんですか。何で報告してくれないの。どんどんどんどん負担割合の件は、そうやって我々、主義主張している中で事業だけは進んでいる。これは絶対許されないことですよ。ちゃんと報告義務があるはずですよ議会に対して、その辺明確にお答え下さい。それとさっき最終処分場の補償料のこと、最後良くわからなかったんですけど、もうこれ以上お金を使わなくて良くなったとのことですか。補償が少なく済んだお金はどうするんですか。残ったそのへんの取り計らいを説明すべきではないですか。そのへん最後わからなかったんですけどそのへんお答えいただきたいと思います。

○議長（地下誠幸君） 事務局長。

○事務局長（増田吉克君） 今回、臨時会でこの繰越について報告する時期、この時期になってしまいましたのは、こちらの正に議員のおっしゃるとおり、事務手続き上、日程調整等の遅れ等によるものでございました。本来であればもっと早めにですね、進めて行ければ良かったと思っているところでございます。繰越、今後も出て来ることがあるかも知れませんが、その際は、出来るだけ早い時期に繰越の報告ができるように努めたいと思いますのでよろしくお願いします。

先程、説明の中でおおよその面積で申し上げましたけれども、広域最終処分場の方の計画地に対する用地取得に係る筆数は、20筆、地権者は11名、1法人でございます。買収面積としましては、19,782.96㎡これは、実測値でございます。内、山林として評価されてます土地が17,019.09㎡、畑として評価されてます土地が2,763.87㎡でございます。

買収金額につきましては、59,654,000円、うち山林の評価になる分としての単価は、平均の単価でございますが、平米単価約2,672円、畑評価での平均平米単価は、約5,125円でございます。

（発言する者あり）

平米平均単価、山林の方が約2,672円、畑の方が約5,125円でございます。

（発言する者あり）

2月の議会において、1件売るのに渋っていて貸すことなら出来る案件が1件ございましたが、最終的に年度末になりまして、売っていただける事になりましたので、そのへんは、用地購入の手続きを行ったところでございます。

補償の方でございますが、29年度予定していた補償につきましては、この金額、先程報告した金額で終わっているんですが、・ ・

(発言する者あり)

29年度中に予定していました、センリョウ畑に係る育成ハウスや育成畑、立竹木の3件、5,926,020円は執行済みでございまして、繰越額が1,373,000円となりました。建設計画地内の用地交渉の際に、補償物件が発生する可能性がございましたので残りの額を繰越いたしました。民有地の用地取得が7月に完了しまして、その際、地権者との交渉の際に物件補償が生じませんでしたので、29年度に予定していた用地補償の事業は完了しております。

(発言する者あり)

繰越した額ですので予算不用額となります。

議長(地下誠幸君) 荻谷議員。

○8番(荻谷進一君) 土地の平米単価というのは、聞きましたけど、全員同じ価格でやったんですよね。不公平感無くて、そのへん確認させてください。後でまた、土地の問題ですから、実は、後になって、実は俺高かった、俺安かった、そんなことはないですよ。最後の渋った人だけ上げたとか、そんなことはないですよ。一応確認をさせて下さい。その上で明許繰越になった部分で余った予算は、不用額でやるのは、結構ですけど、ともかくお金がないのですから無駄は無くしていただいて不用額の取り扱いは、どうするか明確にして下さい。

○議長(地下誠幸君) 事務局長。

○事務局長(増田吉克君) 単価の方ですが所在する場所、形等により若干の違いがございます。

(「暫時休憩」を求める声あり)

○議長（地下誠幸君） 暫時休憩いたします。

午後4時03分 休憩

午後4時13分 再開

○議長（地下誠幸君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。引き続き質疑を行います。
苅谷議員の質疑に対する答弁を求めます。

事務局長。

○事務局長（増田吉克君） まず先程、年度末に用地が買えることになった方、始めは、貸すと言っていたのに買える事になった方に対しての用地の買収の金額については、他の方と区別することなく鑑定額を基に買っております。それからもう一点、不用額の件でございますが、今回の繰越明許分の不用額につきましては、30年度決算において最終的に不用額に計上され、その分につきましては繰越金となりますので31年度の負担金を計算する際にその分を除いた形で計算することになります。

○議長（地下誠幸君） 苅谷議員。

○8番（苅谷進一君） いずれにしても、管理者を含めてですけど、情報の提供が余りにもちょっと少ない。どんどんどんどん決まった事とか、そういう事は毎月一回でも報告を出していただけないでしょうか。この議会何回あります。これで何百億のお金を動かして、それで議運もない、かと思ったら資料は、土壇場に出るっていう事では、いけないと思うんですよね。こうやってやって行く以上、関連ですからやっばりね、この話を全部壊したかったら別にそれでいいですよ。まだ3市でやって行くという考えがあるんだったら、情報開示と流れをきちんと報告をしていただかないと、明許繰越については、私は、反対しませんが、その辺をきちんとやっていただけるかどうか、管理者申し訳ないんですけどご答弁いただければありがたいと思います。もし、無理であったら局長でも結構です。

○議長（地下誠幸君） 明智管理者。

○管理者（明智忠直君） 月に一回位の進捗状況の報告をせよ、ということですがありますけどなかなか三市の首長、そしてまた議会もいろいろとスケジュールがあって調整するのに、かなり厳しい。

（「書面でもいい」との声あり）

進捗状況については、なるべく書面で報告をするようにさせますのでよろしく願いします。

○議長（地下誠幸君） 他に質疑ございますか。

浅野議員。

○9番（浅野勝義君） 関連で含めてお願いします。先程、山林、畑の単価がいくらか、出ましたよね、先程のお話だと若干の差があるという答えをされました。平均の単価と言うのを教えてもらった訳で、若干の差というのは、どれ位の差、なんですか。

○議長（地下誠幸君） 事務局長。

○事務局長（増田吉克君） まず、山林の方ですが、平均単価で先程2, 599円と申し上げましたが、上下の幅は、大体、平米300円位です。失礼しました。平米単価は、2, 672円です。畑の方ですが、先程、平均単価は、平米5, 125円とお話しさせていただきましたが、幅は、700円位の幅となっております。

○議長（地下誠幸君） 他に質疑ございますか。

（「質疑なし」の声あり）

日程第11 閉会

○議長（地下誠幸君） 質疑なしと認めます。以上を持ちまして、本日の議事日程は、すべて議了いたしました。これにて、平成30年8月東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会を閉会いたします。本日は、大変ご苦勞様でした。

午後4時20分閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

東総地区広域市町村圏事務組合議会 議長 地下 誠幸

議員 浅野 勝義

議員 鎌倉 金